

5月30日(土) 第5回 「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、「**現在 81 歳！！ まだまだ続くボランティアパワー！！**」～48 歳からボランティアを始めて 2011 年東日本大震災後野田村（被災地）でのボランティア活動に最多参加しています・・・と題してゲストに「**高橋康男さん**」をお迎えして、お話していただきました。

高橋さんは、今回「ほっと・ぼらんていあ」のお知らせが**広報に掲載**されて、新聞にも載ったことがないのに「**どってんぶちまけでびっくらこいた**」とみなさんの笑いを誘ってから・・・**48 歳の時に**、高校生相手に**スキーのインストラクター**としてボランティアを始めたことをきっかけに、その後、**中国残留孤児の後援会**、**リンゴ農家でのボランティア**など、その時その時に応じてボランティアで関わってきたことを今だに継続していること・・・**東日本大震災で停電**した時も、**自家発電機**で近所に**電気のお裾分け**をしたり、**風呂**を沸かして近所の方に**提供**したことなど盛りだくさんの話をしてくださいました。

震災直後に単独で被災地（宮古と田老）を訪れた際には「**何しに来た！**」と怒鳴られながらも、弘前大学人文学部ボランティアセンター（現在**弘前大学ボランティアセンター**）が発足したことで、**2011 年4月より**、**継続的に野田村でのボランティア活動**に参加するようになってから今日まで、特別なことがない限り参加しています。被災地での実情を目の当たりにして、**食べられて暮らしていられることが**、**どれだけ幸せな事なのか**実感したと話しています。また、**ガレキ撤去**の際には、学生がケガをしないように（破傷風に配慮しながら）と**現場監督**のような指導のお蔭で一人もケガ人が出なかったことなどなど・・・大きな力を発揮しています。

その反面で、家庭を留守にすることが多かったせいか、**妻が認知症になったこと**に気付かなかったと反省し、現在は奥さんにも多くの愛情を注がれている様子が伺われました。

そして、**ボランティア活動を通して**、**これまでに会った多くの仲間と現在も交流が続いている**ことが何よりも嬉しいことだと話しています

※**6月11日(木)**の14時（再放送19時）～**アッフルウエー**「津軽いじん館」で高橋さんのお話が放送されます。また、**6月**には、高橋さんの**人物紹介**記事が**東奥日報に掲載**される予定です。

参加者からは～ゲストの方の人柄に、ものすごく惹かれました。楽しかったです。自分も行きたいと思いました。などなどの感想をいただいて、実際に活動の参加申し込みをされた方もいました。さらにもっともっとお話を聞いていたい・・・そう思うくらい楽しい時間でした。

「**ほっと・ぼらんていあ**」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるようにこれからも2か月に1回程開催予定です。**次回は、8月29日(土)**の13:30～15:30分まで「**弘前地区更生保護サポートセンター**」の方にお話していただく予定です。詳細に関しては、ボランティア支援センターのHPや広報、新聞等で確認していただければ助かります。ボランティアに興味のある方に限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。